

2021年度第1回北栄町文化財保護委員会

日時 2021年6月16日(水)

午後2時15分～3時30分

場所 北条農村環境改善センター 小研修室

参加者 北栄町文化財保護委員：日置、横濱、南場、遠藤(欠席：中前)

事務局：別本教育長、手嶋生涯学習課長、前田文化・スポーツ推進室長、
池口文化・スポーツ推進室主事、永井文化・スポーツ推進室主事

日 程

1. 開 会

2. あいさつ

3. 報告事項

- (1) 2020年度実施事業について…【共通資料 P. 1～3】資料 P. 1～2

【文化財保護対策事業】

永井：文化財保護委員会、齋尾家住宅限定公開、指定文化財の保護・管理報償費の支払い、
歴史探訪ウォーク、オオサンショウウオの保護への対応、各種開発事業との調整など
を行った。

【町内遺跡発掘調査事業】

永井：六尾反射炉跡の試掘調査、江北地内で国道179号関係の試掘調査、由良宿地内で県
道倉吉由良線関係のボーリング調査を実施した。六尾反射炉跡と国道179号関係の
試掘調査については昨年度の委員会で結果を報告している。県道倉吉由良線関係のボ
ーリング調査では、クロスナ層が確認されたため、鳥取県文化財局等と協議を行い、
試掘調査が必要との判断となった。今年度試掘調査を行う予定で準備を進めている。

【由良台場・六尾反射炉発信連携事業】

永井：北栄町が主担当となり、3月21日に大栄農村環境改善センターで、六尾反射炉跡の
発掘調査に関するミニシンポジウムとロビー展示を実施した。併せて、ギャラリーゆ
ら里でパネル展示を実施した。

委員長：意見、質問等あるか。

南場：クロスナ層とは何か。

永井：遺跡が確認されることが多い土層のこと。

室長：人が生活していた形跡が見られることがある黒色の砂の層のこと。この層が見られた
ため、県と協議を行い、今年度試掘調査を実施することとなった。

横濱：試掘調査の実施期間はいつ頃か。

永井：7月から9月の2ヶ月間程度を予定している。

横濱：オオサンショウウオの保護とは具体的にどのようなことを行ったのか。

永井：過去にオオサンショウウオの生息が確認されている川で土木工事が行われる場合に、工事の概要等を確認し、オオサンショウウオの保護に配慮した工事を行ってもらうよう協議を行った。

委員長：その他意見、質問等あるか。(なし)

(2) 北栄町文化財保存活用地域計画について… 資料 P. 3～9

室長：6月2日に最終案を文化庁に提出した。現在、関係省庁に内容を確認してもらっている。修正点があれば県を経由して文化庁に認定申請を行い、7月に認定をいただく運びとなる予定。今後は、定期的に計画の更新があるため、次回の更新時に直した方がよいところなどお気づきの点があれば随時教えていただきたい。

委員長：完成したら冊子になるのか。

室長：冊子にはしないが、町のホームページなどで公開し、町民の皆さまに見ていただけるようにしたいと思っている。

遠藤：地域計画をもとに、観光客に巡っていただけるような町内文化財の散策コースを作れないか。

室長：周遊化事業の実施についても計画に入れているため、実現できるようにすることが次の課題となる。今後も委員の皆さまと一緒に取り組んでいきたい。

委員長：その他意見、質問等あるか。(なし)

4. 協議事項

(1) 2021年度事業計画について…【共通資料 P. 4～6】

永井：資料のとおり、昨年度と同様の事業の実施を予定している。

委員長：意見、質問等あるか。

南場：資料に記載のあるアートスタート事業とは。

室長：子どもたちに芸術に触れる機会を提供する団体の活動を支援する県の補助金事業。近年利用はないが、団体の手上げに備えて予算の確保は行っている。

課長：県の要綱によると、0歳から小学校入学前までの乳幼児を対象とし、豊かな感性と創造性を育むことを目的に、市町村と連携し作品鑑賞、創造体験、公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する事業とのこと。室長が言ったように、アートスタートの機会を提供するという行為に支援を行うもの。

委員長：その他意見、質問等あるか。(なし)

(2) 2021年度発掘調査事業計画について… 資料 P. 10～12

【県道倉吉由良線関係試掘調査】

永井：昨年度、県道倉吉由良線の取付工事に先立ち、ボーリング調査を実施したところ、クロスナ層が確認されたため、今年度7月から9月にかけて試掘調査を実施する予定としている。トレンチを2箇所設置し、道路建設予定地内の遺構や遺物の確認を行う。調査報告書の刊行は2022年度を予定している。

【六尾反射炉跡発掘調査】

永井：昨年度に引き続き、発掘調査の実施を予定していたが、当初予定になかった緊急調査として県道倉吉由良線関係の試掘調査を行うことになったため、その進捗状況によっては、予算や作業時間の確保が難しくなる。そのため、六尾反射炉跡の発掘調査については、実施を来年度以降にずらすことを考えている。

委員長：意見、質問等あるか。

横濱：緊急調査とは。

室長：計画を作成した段階では、今年度は六尾反射炉跡の発掘調査のみを予定していたが、昨年度末に県道倉吉由良線関係のボーリング調査を実施した結果、クロスナ層が確認されたため、急遽試掘調査を行うこととなった。結果として、本調査が必要となった場合、原因者負担で本調査を実施することになるため、県の来年度予算の都合上、9月中に試掘調査を完了させ、本調査が必要かどうか判断しなければならない。そのため、六尾反射炉跡の発掘調査を行うことが難しく、来年度以降に遅らせることを考えている。

委員長：その他意見、質問等あるか。(なし)

(3) その他

池口：今年度、文化財の指定を考えている。候補は、山陰葡萄酒合資会社資料（3, 255点）と田畑地続全図（19点）。山陰葡萄酒合資会社資料は、明治から昭和にかけて由良宿で経営されていた山陰葡萄酒合資会社のワイン醸造や販売等に関する資料。田畑地続全図は、江戸時代に作成された大栄地区の土地利用を示した地図で歴史民俗資料館に保管してある。今後の流れとして、本日の委員会で指定に向けた委員の皆さまの意向を確認し、同意をいただけた場合、第2回の委員会で指定文化財候補の内容等について協議し、第3回の委員会で教育委員会への意見具申案について協議する。その後、3月に教育委員会への意見具申を行い、指定決定後、告示及び所有者への指定書交付を行うといった流れで進める。

委員長：意見、質問等あるか。

横濱：資料写真に洋酒売込帳とあるが、洋酒とは葡萄酒のことか。

池口：いろいろなものを造られていたようで、普通の葡萄酒や健康食品のような葡萄酒を作られている他、ウイスキーなどの取り扱いもあったよう。

横濱：売込帳に洋酒との記載があるため、葡萄酒以外にもどこかからの仕入れがあり、販売していたのだらうと思われるが、葡萄酒と洋酒をまとめてしまわず、仕訳けて調査をしてもらいたい。

室長：ひとまず、お示しした候補について町指定に向けて進めてもよいかお諮りしたい。

委員一同：よいと思う。

室長：山陰葡萄酒合資会社資料については、持ち主の方のご意向を確認した後に進めていきたいと思う。

委員長：その他意見、質問等あるか。(なし)

5. その他

6. 閉 会